



「ジェンダーかるた」で遊ぶメンバーたち—愛知県長久手市の愛知淑徳大学長久手キャンパスで

「個々の考えが否定されず、自由に話せる大切な居場所。愛知淑徳大学（愛知県長久手市）の「ジェンダー研究会Coalook（コアルック）」

「『て』つたいはみんなですればいいよね」。エプロン姿の猫たちを描き、家事が女性だけの役割ではないことを訴える。2人の気持ちを尊重する大切さを伝える「『け』っこん」のかるたもある。文学部2年、子安ほのかさん（20）は「性別で社会や家庭の役割を決めつけるような印象を与えないイラスト作りに苦労

イ千押し

政治を議論するだけでは「した」と振り返る。日常的に愛さない会話を楽しみ、太宰治などランなど9カ所で配布する文学作品から家族の在る予定。誰もが違うこと

開くなど、活動は幅広い。互いを思いやる世の中に2016年から同県日進市との協働事業で「ジエンダーかるた」作りにも取り組む。

【多和田奈々】

2018年2月2日（金）毎日新聞17面より
この記事は毎日新聞社の承諾を得て転載しています。